

しまね・つくば研究者ネットワークの 令和6年度 総会・幹事会・情報交換会を開催しました。

日時：令和7年2月1日(土) 13:00～17:00

場所：つくば国際会議場

参加者：つくば側会員 11名(うちオンライン参加1名)

島根県支援機関 11名(うちオンライン参加1名)掲載

プログラム① 総会・幹事会

会の前半では、ネットワークの総会・幹事会を開催し、橋本 義輝氏(筑波大学微生物サステナビリティ研究センター)ネットワーク会長のご挨拶ののち、議事「R5 事業報告及び R7 事業計画」を議論し承認されました。

また、ネットワークの維持・活用やネットワーク間のコミュニケーションを高め活動を活性化させていく必要があることなど現状の課題をメンバーで共有し、次年度の活動へ活かしていくことを確認しました。

プログラム② 情報交換会

第1部では、島根・つくばの相互理解を深めることを目的に、令和6年度新規入会のつくば側研究者より研究内容など自己紹介を実施しました。登壇者からは専門分野である半導体集積回路、スポーツウェア開発に係る支援・研究、地質学・岩石鉱物学など多岐に渡るテーマでご発表いただき、県内各機関との連携可能性について意見交換が行われました。

また、島根県からは、ネットワークの活性化に向けて、ネットワーク会員の研究者概要資料を作成し、県内の産業・教育分野で活用していくことを提案し参加者から了承されました。

第2部及び第3部では、島根県側の支援機関メンバー(産業技術センター、しまね産業振興財団・島根県発明協会、島根県教育委員会、出雲科学館)による産業振興や教育分野における施策や近年の取組み紹介のほか、林 みちこ氏(筑波大学芸術系)より芸術分野における連携事例の紹介があり、参加者による活発な意見交換、質疑が行われました。

